

教育分野企画会議：理科教育のルネッサンスを — 未来に発信するキャリア展開にむけて —

科学教育に若い人材を生かすことは日本の将来にとって重要な課題です。キャリア支援センターでは、若い人材を生かす重要な方向として、教育分野を考えています。しかし、教育部門のキャリアパスを切り開くことは、物理学会の人材育成を考えると、最も有望でもあり、かつ困難でもあると思われます。

最近、2006年に実施されたPISAの成績が公表され、日本の科学技術のレベルが下降状況にあること、特に科学に対する興味が日本の子供たちに無いことに、危機感が生まれています。

そこで、さまざまなレベルでの科学教育のあり方を展望し、物理を専門とする我々自身が、これらの問題と正面から向かい合い、職域の拡大と結び付けて具体的なプログラムを組むことを目標にした講演会と討論を計画しました。

今回は、物理専門教育以外の領域への物理学者の役割について各地での実践報告、さらに教育分野への人材活用を可能にする道を探り、実際にそれに向けての具体的な方針を練り上げたいと思います。現代の科学教育をめぐる環境の整備のために、みなさんの知恵を集めて早急に具体化したいと考えています。

この会議は、今後教育関係のキャリアを切り開くための方針や課題などを話し合うためのものです。アイデアや経験のある方、興味をお持ちの方々は、少しの時間でもぜひとも参加下さい。そしてご意見をいただければと思います。参加ご希望の方は、以下のサイトで参加登録をすることができます。

<http://www.ph-career.org/event/regist3.html>

プログラム

日時：2008年3月3日（月）9:40

場所：京都大学基礎物理研究所

9:40-9:50 「あいさつ」 京都大学基礎物理学研究所所長 江口徹

各地の取り組み実践報告

9:50-10:10 実験サークル等の教育実践から見えてきたこと 岡山理科大学 高原周一

10:10-10:30 高校との連携教育について 岡山理科大学 野瀬重人

10:30-10:50 物理人材の医療への活用 岡山理科大学 藤井佳子

10:50-11:10 サイエンス・クラブ京都の理科教育への取り組み サイエンス・クラブ京都 加藤利三
休憩

11:20-11:40 ”サイエンスショップ”とキャリアパス拡大 神戸大学 伊藤真之

11:40-12:00 「サイエンス・ラボ」— 学生主体の演示実験開発組織の立ち上げ 金沢大学 鎌田啓一

12:00-12:20 特色GP「理科離れ実相調査」 ”小中高で印象に残った理科授業と先生について”
現役中高大学生の回想調査から見えてくるもの 愛知教育大学 牛田憲行

12:20-13:30 昼休み

ポスターセッション

13:30-14:30 ポスターと教材展示

教育における情勢

14:30-15:10 科学教育のプロを育てよう 名城大学 総合数理教育センター長 川勝博

15:10-15:30 科学の心を教える人材へ～ 大学一般教育の経験から～ 愛知大学 坂東昌子

パネルディスカッション

15:40-17:30 教育部門のキャリア支援会議
教育部門への人材育成に対する方針を検討する。

夕方 懇親会 (18:00-20:00)